



子どもの服薬補助ゼリーキット開発にかかる課題解決提案ブックレットが完成 ～服薬における子どものQOL向上を目的としたデザイン研究プロジェクト～

概要

九州大学大学院芸術工学研究院の平井康之准教授と秋田直繁助教は、服薬時の子どもや服薬管理を行う保護者の身体的・精神的負担の軽減、安心・安全を担保に子育てしやすい Quality of Life (QOL) 向上につながる服薬のデザインの可視化を目的とした調査・研究を実施し、この度、その成果をブックレットとしてまとめ、広く一般に活用いただけるよう公開しました。

本調査・研究は、平井准教授と秋田助教が所属する「こども×くすり×デザイン実行委員会」が株式会社モリモト医薬と共同で実施したもので、小学生の子どもをメインユーザーに、ユーザー参加型デザイン手法を用い、その保護者、薬剤師らと共にワークショップを通じて、子どもたちの日常の生活の「気づき」から「課題」を抽出しました。

背景

薬は、その性質上、食べ物と違って噛むことができないため、唾液の代わりに水を口に含み、飲み込みますが、子どもは水ばかり飲んでうまく飲み込む（嚥下^{えんげ}する）ことができず、薬が口内に残る、または喉に付着してしまうことが多くあります。

また、学童期の子どもは、「人前で飲むのが恥ずかしい」などの理由で薬を飲まない、または飲み忘れ、飲み残しという現状があり、服薬アドヒアランス（患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること）の低下という問題があります。

そこで、服薬における子どもの QOL 向上を目的として服薬補助ゼリーキットを開発している株式会社モリモト医薬と共同で、デザイン研究プロジェクトを実施しました。

嚥下のしやすさを追求した服薬補助製品の開発は、いくつかの企業で行われていますが、実際に使用する子どもの気持ちに配慮し、服薬アドヒアランスを向上させるためにデザインしたものは、本プロジェクトが新しい取り組みです。

内容

研究対象として、水よりも飲み込みやすい服薬補助ゼリーキットを用いました。細長い筒状の袋を2つに区切り、片方にゼリーを詰めたもので、もう一方に薬を入れて袋を押すと、ゼリーと薬が混ざり合い、吸い口からそれを飲むことができます。

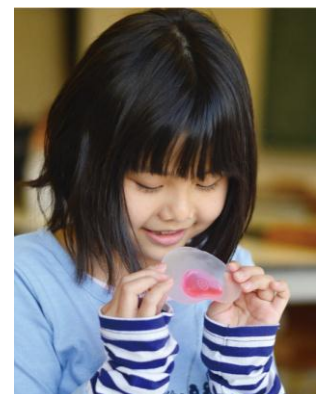
全2回開催されたワークショップではゼリーキットを元にユーザー参加型デザイン手法を用いて、子どもたちと共に理想の服用方法について検討しました。

画像:研究対象の服薬補助ゼリーキット(株式会社モリモト医薬)



1回目は「気づき」の抽出、アイデアを創出し、「こども×くすり×デザイン実行委員会」がプロトタイプを製作しました。2回目にアイデアの検証・ブラッシュアップをする中で、子どもの服薬シーンごとに分類し、課題解決を検討する指標として「安心・安全」「利便・適応」「心地・感動」の観点から整理し、課題解決提案ブックレットにまとめました。

なお、本ワークショップは「特定非営利活動(NPO)法人こどもとくすり」(福岡県福岡市)の協力を得て開催されたものです。本プロジェクトには、本研究院の平井准教授と秋田助教が所属する「こども×くすり×デザイン実行委員会」のメンバーである薬剤師、子育て・医療ライターおよび子どもファシリテーターが参画しています。本委員会は、薬と服用する子どもとの心理的距離を縮め、医学、薬への積極的なアプローチを可能にする医療デザインを追究し、子どもの視点に立ったデザイン解決策の提案を行っています。



画像:プロトタイプの一例

<ブックレット（抜粋版）画像>



■今後の展開

研究の内容を検証するためにブックレットにまとめたことにより、服薬アドヒアランスを向上させることに貢献するとともに、薬物治療の効果を高めるために、子どもが安心して安全に服薬できること、次に、服薬補助ゼリーキットの使い勝手がよく、心理的・生理的に負荷がないこと、そして、子どもがより楽な気持ちで前向きに服薬できることが大切であるということを広く社会に周知します。

また、可視化されたプロトタイプの普及のみにとどまらず、社会と共有することで、広く意見を集め、今後の子どもの服薬に関するデザイン研究に活かしたいと考えています。

※ ブックレットは部数に限りがありますので、提供を希望する場合は、下記問い合わせ先にご相談ください。送料が必要になりますのでご留意ください。

※ 「こども×くすり×デザイン実行委員会」は昨年、「ユニバーサル都市・福岡賞」最優秀賞を受賞しました。（参考 URL）

・福岡市の報道発表（平成 25 年 10 月 10 日付）

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/40339/1/universaljyushoushakettei.pdf>

・本学 Web サイトトピックス

http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/index_read.php?kind=&S_Category=T&S_Page=Main&S_View=&word=%82%AD%82%B7%82%E8&page=1&B_Code=5530

・NPO 法人こどもとくすり

<http://kodomo-kusuri.org/>

【お問い合わせ】

芸術工学研究院 准教授 平井康之
助教 秋田直繁

電話：092-553-4590

FAX：092-553-4590

Mail：akita@design.kyushu-u.ac.jp